

ったのにもかかわらず、まる子は許せず一人で家に帰ってしまう。家で火の当番を頼まれ、たまちゃんと同じ立場になり、初めてたまちゃんの気持ちに気づき、タイムカプセルを探しに行く。そこで、たまちゃんと出会い、お互いの気持ちを理解することで、再び絆が深まるという話である。

本授業では、主人公のまる子の言動に焦点を絞り、ねらいに迫りたい。特に、まる子がたまちゃんの立場に立って考えることこそ、友達と大切にすることにつながるということになるということを考えさせていきたい。

[研究テーマに関わって]

人とのつながりを大切にし、よりよい生き方を求める実践力の育成  
～言語感覚を磨き、自尊感情を高める取組み～

◆ねらいにせまるための手立て

- ① ペアトーク・・・自分をみつめるアンケートからも「私はみんなの前で失敗するのがいやです」項目に「とてもそう思う」と答えた児童がまだ多くみられた。全体の場で自分の思いや考えを発表することに自信が持てずにいる児童に対して、まずは隣の友達に自分の思いや考えを発言させることから始めたい。自分の意見を明らかにすることや友達の意見と交流することで自分の意見に自信を持ち、発表しやすい工夫の一つとしたい。
- ② ハンドサイン・・・これも自分の意見を明らかにする工夫の一つとして活用し始めたものである。子どもの実態として、なかなか友達の意見をじっくり聞くのが苦手なところがあるので、まとめがきではなく、書いて聞き返すことで自分の意見と比べられるようにハンドサインを出すようにしたい。自分の気持ちと友達の気持ちを比べることでより教材を読み深め、ねらいに迫りたい。
- ③ 紙芝居・・・3年生の道徳教材としては少し長いお話であるが、手元に資料を持たせないで紙芝居を活用してお話の世界に浸らせることで、内容を理解しやすくしたい。板書にも紙芝居の絵を利用することで、場面の内容把握の一助にしたい。

### 3 学習の展開

導入	学習活動と主な発問 (○主な発問、◎中心発問)	児童の発言	教師の支援と評価
展開 前 段	1 タイムカプセルについて知る。 ○タイムカプセルってどんなものか知っていますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さいビンに手紙やお金を入れる物。</li> <li>・大きくなって思い出になるものをいれる物。</li> <li>・見つからないところに埋めるんだよ。</li> <li>・何年後かに見る物。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の話に期待を持たせ資料への導入とする。</li> </ul>

	<p>2 資料「たまちゃん、大すき」の紙芝居を見て、話し合う。</p> <p>○タイムカプセルを作ったたまちゃんと埋めることにしたまる子はどんなことを考えていたでしょう。</p> <p>○タイムカプセルを投げ捨てたまる子は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◎はっとしたまる子は、どんなことに気づいたのでしょうか。</p> <p>○タイムカプセルを泣きながら探し続けているまる子は、どんな気持ちだったでしょう。</p>	<p>〔資料範読〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくした気持ち。</li> <li>・うれしい気持ち。</li> <li>・明日、神社の木の下にタイムカプセルを埋めるのが楽しみだなあ。</li> <li>・約束したのになぜ来ないんだろう。</li> <li>・うそつき。</li> <li>・たまちゃんなんて嫌い。</li> <li>・もう絶対遊ばない。</li> <li>・たまちゃんは出られなかったんだ。</li> <li>・たまちゃんは頼まれて一生懸命していたのにひどいことを言ってしまった。</li> <li>・たまちゃん今どう思っているかな。</li> <li>・タイムカプセルを見つけてたまちゃんに謝らなきゃ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居で使った場面絵を掲示することで、内容をつかみやすくする。</li> <li>・各自で考えたあとペアで意見交換したり話し合ったりすることで発表しやすい雰囲気をつくる。</li> <li>・火の番をすることの大切さを補足することで、資料を理解できるようにする。</li> <li>*まる子の気持ちの変化に気づいたか。 (ワークシート・発表)</li> <li>*たまちゃんの立場を理解し、自分の言動を後悔しているまる子の気持ちに共感できたか。 (発表・つぶやき)</li> </ul>
<p>展開後段</p>	<p>3 自分たちの生活をふり返る。</p> <p>○まる子とたまちゃんのように、「友だちがいてよかった」と思うのは、どんな時ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で遊んでいるとつまらないから友だちがいてよかった。</li> <li>・勉強が分からない時に友だちが教えてくれた。</li> <li>・もう走れないと思った時に応援してくれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*たまちゃんの立場を理解し、自分の言動を後悔しているまる子の気持ちに共感できたか。 (発表・つぶやき)</li> </ul>